画像電子学会

第 12 回画像ミュージアム研究会のご案内

画像ミュージアム研究会では、画像電子技術の博物館応用、ならびにディジタル技術を利用しての博物館情報の流通に必要な技術の研究成果を集め、情報交換を行う場を提供しています。このたび“博物館情報活用の展望”というテーマで、以下のプログラムで第 12 回画像ミュージアム研究会を開催いたします。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時：2014 年 2 月 28 日（金）　13:00～17:00
場所：(財) 電磁応用研究所
東京都港区南青山 5-1-10　南青山第一マンションズ 8F ロビー（集会室）
＜地下鉄表参道駅 A5 出口より徒歩 1 分＞
http://www.dolab.jp/access/index.html
テーマ：博物館情報活用の展望
参加費：500 円，研究会運営のため講演者の方にも参加費をお願いしています。

プログラム

13:00-13:05 座長　開会挨拶
13:05-13:40 「正倉院文書の料紙と繋紙の切り分けと並べ替え」
脇　正宏，米村俊一：芝浦工業大学，安達文夫：国立歴史民俗博物館
13:40-14:15 「3DCG による新しい絵画の観賞体験　～ViewPaint Vol.1 フェルメール「牛乳を注ぐ女」制作紹介～」
奥窪宏太：凸版印刷株式会社
14:15-14:50 「パーソナルファブリケーションを活用した縄文土器の展示」
桐山孝司，木村稔：東京芸術大学大学院，千葉毅：神奈川県立歴史博物館
14:50-15:05 ＜休憩＞
15:05-15:40 「来館者が持参したスマートフォンを音声ガイドとして利用する試み」
鈴木卓治：国立歴史民俗博物館
15:40-16:15 「博物館資料名称の関連度を用いた分野横断検索」
山田　篤，安達文夫，小町祐史
：京都高度技術研究所，国立歴史民俗博物館，国士舘大学
16:15-16:50 「過去の未来技術予想に見る今後の技術」
富永英義：電磁応用研究所
16:50-17:00 座長　閉会挨拶

参加申込方法：
参加申し込みは、2 月 25 日（火）までに以下の画像電子学会のホームページから行って下さい。
http://www.iieej.org/trans/kenaf.htm
当日も受け付けております。事前申込の方には、ハードコピーの予稿集を用意いたします。